禁転載複製

「中央職業能力開発協会編」

令和８年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

経営情報システム分野

３級　経営情報システム

試　験　問　題

(14 ページ)

１．試験時間　110 分

２．注意事項

（１） 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。

（２） 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。

（３） 試験問題は、40題あります。

（４） 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。

（配　　点）問題１～問題40　　各2.5点　　合計100点

（合格基準）試験全体として概ね60%以上の正答。

（５） 関係法令、会計基準、ＪＩＳ等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和８年５月１日時点で施行されている内容に基づくものとします。

（６） マークシートにマークする際には、ＨＢ又はＢの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。

（７） 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。

（８） 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを１つだけ選んで間違えないようにマークしてください。

（９） 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。

(10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。

(11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。

(12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

(13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。

(14) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。

(15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

禁転載複製

問題１　ＯＳの起動に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＤＶＤドライブからLinuxの試用が可能である。
イ．ネットワークブートでは、ＳＳＤよりも高速に起動できる。
ウ．ＵＳＢメモリからＯＳを起動できる。
エ．外部機器からのブートを禁止することができる。

問題２　顧客行動の分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．店舗別の天気による来店者数の違いについて分散分析を行う。
イ．商品カテゴリ別の割引率の設定状況を店舗単位で集計し、分析を行う。
ウ．店舗の周辺に在住するポイントカードを所有する顧客数と当該地域の住民数について、店舗ごとに比率の検定を行う。
エ．顧客年齢を10歳区切りでグループ化し、購買活動１回当たりの金額と、来店回数の相関を調べる。

問題３　データの種類に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．テキストデータは、主観的な要素が強いため統計処理が行えない。
イ．アンケートの回答項目での年齢を10歳代で区切ったものは、離散型である。
ウ．時間の変化に対する気温の変化は、連続型のデータとなる。
エ．文字コードは、数値として計算が行える。

問題４　商用データベースに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．収録情報はテキストや数値だけでなく、地図、動画など多種類の画像情報も含まれている。
イ．インターネット経由の検索方式には、コマンド方式とメニュー選択方式があるが、コマンド方式の方が初心者向けである。
ウ．有料ではあるが契約すれば誰でも利用が可能で、情報の信頼性や網羅性が高く、詳細な情報を入手することができる。
エ．市場動向調査、特許出願状況調査、流通経路調査、新製品開発動向調査、人物調査などに利用することができる。

禁転載複製

問題５　Webサイトに人を呼び込み、販売やブランディングの促進を目的とするWebマーケティングに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．アドネットワーク広告とは、ソーシャルメディアに広告を出す手法で、ユーザー属性や居住地、趣味嗜好などに合わせてターゲティングが可能である。
イ．ＳＥＯ対策とは、特定のキーワードが検索された際、検索結果のより上位に自らのWebサイトが表示されるように、対策を講じることである。
ウ．リスティング広告とは、検索エンジンの検索結果に連動して表示される広告のことである。
エ．リターゲッティング広告とは、広告主のWebサイトの訪問履歴があるユーザーに対し、他のWebサイトの広告枠で広告主の広告を配信し、再度の訪問を促す広告のやり方のことである。

問題６　フォントに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ビットマップフォントは、コンピュータの初期から使われてきた。
イ．アウトラインフォントは、ベクター形式で定義されている。
ウ．Webフォントを使うとテキストとして検索できなくなる。
エ．ストロークフォントは、文字の骨格線の情報を扱う。

問題７　取引先からの資料を、自宅で利用しているプロバイダの電子メール宛に送信してもらうことになっていた。しかし、期日を過ぎても、ほかのメールは届いているが、当該メールが届いていない。状況を問い合わせたところ、既に送信済みとの返事が返ってきた場合、確認すべき内容として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＰＯＰサーバー名
イ．ＳＭＴＰサーバー名
ウ．ＳＰＡＭフィルタの状況
エ．メールサーバーの使用容量

問題８　メールに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．メーリングリストは、登録されているメンバー全員にメールを送る仕組みである。
イ．メールマガジンは、メール形式で記事が定期的、あるいは不定期に送られてくる仕組みである。
ウ．ＳＰＡＭメールの送信には、不正侵入されたシステムが利用される場合がある。
エ．チェーンメールは、関連する情報をつなげるためにハイパーテキストで作成される。

禁転載複製

問題９　表計算ソフトウェアの利用に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．条件によって、処理内容を変化させることができる。
イ．外部のデータベースからデータを取り込むことができる。
ウ．タブやカンマで区切ったテキストファイルにエクスポートして、ほかのソフトウェアにデータを渡すことができる。
エ．表計算ソフトでは、アニメーションを伴ったシミュレーションは作成できない。

問題10　グラフ表現に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．グラフ作成の時点でデータを表計算ソフトなどに取り込むため、最新情報に更新できない。
イ．グラフのマーカーの形が印象を与えることを考慮して、○印や×印の使い分けをする。
ウ．２つのグラフを横に並べる場合、縦軸の数値の違いによるバイアスに留意する。
エ．文字のフォントが大きすぎると、グラフの形に目が行きにくくなる。

問題11　コンピュータのハードウェアを構成する装置類に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．入力装置は、コンピュータが計算や判断などの処理をするためのデータや指令を読み込む装置である。ＶＲ（仮想現実）の分野であるグローブ型センサーもそのひとつである。
イ．コンピュータが処理した結果をユーザーに分かるように提示する際に出力装置が使われる。プロジェクターやスピーカーなども出力装置の一種である。
ウ．演算装置の選定においては、グラフィック表示など計算負荷の大きい場合は、ＣＰＵを搭載せず、ＧＰＵのみを搭載した装置を採用する。
エ．ＨＤＤやＳＳＤなどの装置は、補助記憶装置と呼ばれ、データやプログラムを保存するために使われる。

問題12　記憶装置の利用方法に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．動画編集のために、磁気テープを使う。
イ．システムの高速化のために、ＨＤＤにＯＳをインストールする。
ウ．データを移動させるために、セキュリティ面の配慮の上でフラッシュメモリを用いる。
エ．大容量のバックアップを保存するために、キャッシュメモリを増やす。

禁転載複製

問題13　文字コードに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ISO-2022-JPでは、漢字コードが定義されていないことから、これを使用すると文字化けの原因となる。
イ．シフトJISコードで独自拡張文字を使用した場合には、互換性が損なわれる。
ウ．Unicodeは、ひとつの文字コード体系で、多国語処理を可能とすることを目指したものである。
エ．ASCIIコードでは、漢字を表現することができない。

問題14　ローカルエリアネットワークで用いられる【通信媒体（ケーブル)】と【伝送速度】の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

【通信媒体（ケーブル)】
Ａ．同軸ケーブル（イーサネット）
Ｂ．光ファイバーケーブル
Ｃ．ツイストペアケーブル（カテゴリー７）

【伝送速度】
Ｘ．10Mbps～100Ｇbps
Ｙ．10Mbps～10Ｇbps
Ｚ．10Mbps

ア．Ａ：Ｘ　Ｂ：Ｙ　Ｃ：Ｚ
イ．Ａ：Ｙ　Ｂ：Ｘ　Ｃ：Ｚ
ウ．Ａ：Ｚ　Ｂ：Ｙ　Ｃ：Ｘ
エ．Ａ：Ｚ　Ｂ：Ｘ　Ｃ：Ｙ

問題15　教育のＩＴ化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＭＯＯＣ（Massive Open Online Courses）とは、インターネットを通じて世界中の大学や教育機関が提供する講義を、誰でも受講できる仕組みのことである。
イ．ＬＭＳ（Learning Management System）とは、企業や教育機関が学習活動を計画、実施、評価、管理するためのシステムのことである。
ウ．ＧＩＧＡスクール構想の目的は、児童・生徒に対し一人に１台の端末や高速通信ネットワークを活用して、教育の質を向上させることにある。
エ．「スマートスクール・プラットフォーム」は、教職員と児童生徒が用いる「授業・学習系システム」と、事務職員が用いる「校務系システム」がある。

禁転載複製

問題16　民法は、令和２年施行時（2020年）に、従来の「瑕疵担保責任」に代わって「契約不適合責任」が定められた。このことに関連する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．成果物が契約内容に適合しない場合において、受注者が相当期間内に是正対応を行わないとき、発注者は、その不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。
イ．「契約不適合責任」では、契約不適合の箇所を発見してから１年以内であれば、買主が相手方に責任を追及できる。
ウ．契約で決めたことがより強く優先されるため、仕様書・要件定義書の重要性が上がった。
エ．「契約不適合」とは、契約で定められた品質を満たさないことを意味するので、買主側の要件提示に漏れがあっても、相手方に修正を要求することができる。

問題17　システム化計画における業務分析に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．業務分析とは、業務をいくつかの要素に分解し、その機能、プロセス、情報の流れなどを明らかにすることである。
イ．業務分析のための図式化手法には、フローチャート化、ＤＦＤ、ＵＭＬなどがある。
ウ．業務分析は、システム化の目的や目標の設定の後工程として位置付けられ、業務分析の結果は、情報システム構築のシステム設計へと引き継がれる。
エ．システム化に当たっては、業務分析で得られた現状業務の流れをそのまま採用することが重要である。

問題18　「デルファイ法」についての説明として適切なものは、次のうちどれか。

ア．カードに書かれた複数のアイデアを、類似性・関連性に着目してグルーピングし、文章化を試みる手法である。
イ．中心にテーマを書き、中心から放射状に関連する要素やアイデアを書き込むことで、発想・整理・理解を助ける手法である。
ウ．関係者に集まってもらい、自由な雰囲気で議論することで、潜在的なアイデアを引き出したり、新しい視点や創造的な解決策を見出すための手法である。
エ．複数の専門家へのアンケートとその結果のフィードバックを、複数回繰り返すことで意見を徐々に収束させて、合意形成を行う手法である。

禁転載複製

問題19　業務改善策を検討する視点や順序に関する説明として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．業務改善は、現状業務の可視化と定量化を行い、あるべき姿を阻害している要因を明確にし、その解決策の改善計画を策定して実施する。
イ．業務改善を検討する際の原則とされるＥＣＲＳでは、簡素化、順番の入れ替え、同時に実施、作業自体のとりやめ、の順に考えていくことが効果的である。
ウ．対応策を選択する際、対象の業務量、かかるコスト、実現の容易性、得られる効果から評価して優先順位をつけていく。
エ．簡素化のやり方には、作業手順のシンプル化、チェック方法の単純化、ルールの簡素化、管理資料の削減などがある。

問題20　要件定義作業に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．要件定義の準備作業として、文書化や課題管理のためのルール、要件定義の実施方法、会議体の運営方法などを含めた要件定義実施計画を作成した。
イ．想定される全てのステークホルダーからヒアリングを行うことと、要件定義の承認を得ることを、要件定義実施計画にて規定した。
ウ．要件定義の準備作業として、外部ベンダーなどから各種情報を収集するためのＲＦＩを作成した。
エ．要件定義で機能要件と非機能要件を記述し、その非機能要件には、品質特性、技術要件、運用・操作要件、移行要件、付帯作業などを含めた。

問題21　ウォーターフォール方式でのシステム開発を行う際に、以下の＜工程＞で計画を立案した。この計画において、各工程とその工程で作成される成果物との組合せとして最も適切なものは、次のうちどれか。

＜工程＞



記号	工程	成果物
ア	基本設計	プロジェクト計画、システム要件、システム構成概要
イ	詳細設計	入出力概要、データ定義、データベース設計、 ネットワーク詳細
ウ	プログラム設計	プログラム定義、処理定義、入出力詳細
エ	テスト	テスト計画書、テスト成績書、移行計画書

禁転載複製

問題22　スクリプト言語に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．高水準言語で書かれたプログラムをあらかじめ機械語に翻訳して実行するものである。
イ．文章を構造化するためのデータ記述言語であり、要素と属性からなるタグを文章に付加することで構造化する。
ウ．ベンダーが提供する環境やサービスを利用して、プログラムを書かずにアプリケーションを開発することができる。
エ．「台本」に従って処理を行うという意味があり、多くのものはインタプリタ方式で実行される。

問題23　「36協定」は、労働基準法に規定されている時間外労働・休日労働に関する協定のことである。これに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．「36協定」は、使用者である会社側と、労働者である各個人がそれぞれ締結する。
イ．締結された「36協定」は、事業所所在地の市役所・区役所・町村役場などに届け出る必要がある。
ウ．１ヵ月45時間以下及び１年360時間以下の時間外労働は「36協定」を締結しなくても可能である。
エ．届け出された「36協定」は、使用者から労働者へ周知することが労働基準法で義務付けられている。

問題24　チェックデジットに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．クレジットカード番号は、末尾１桁をチェックデジットにすることがＩＳＯ規格で定められている。
イ．バーコードの１種であるＪＡＮコードには13桁のタイプと８桁のタイプがあり、13桁タイプは末尾１桁がチェックデジットとなっているが、８桁タイプは桁数が少ないためチェックデジットを含まない。
ウ．個人番号（マイナンバー）の末尾１桁はチェックデジットとなっているが、その計算方法は秘匿とされており、非公開である。
エ．郵便物の割引を受ける際に利用者が印字する郵便局向けのバーコード（カスタマバーコード）は、郵便番号７桁とチェックデジット１桁の計８桁で構成されている。

問題25　現代ではデータの入力方法は多様化しており、作業の自動化などが進展している。倉庫や店舗における商品管理において、大量データを効率的に処理するための技術として最も適切なものは、次のうちどれか。

ア．２次元バーコード
イ．ＯＣＲ
ウ．ＮＦＣ
エ．ＲＦＩＤ（ＵＨＦ帯）

禁転載複製

問題26　近年、ハッキングやランサムウェアなどによる不正アクセスへの対策として、テープ媒体へのデータ保存が見直されている。そのテープ媒体の一種であるＬＴＯ（Linear Tape-Open）の特性に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

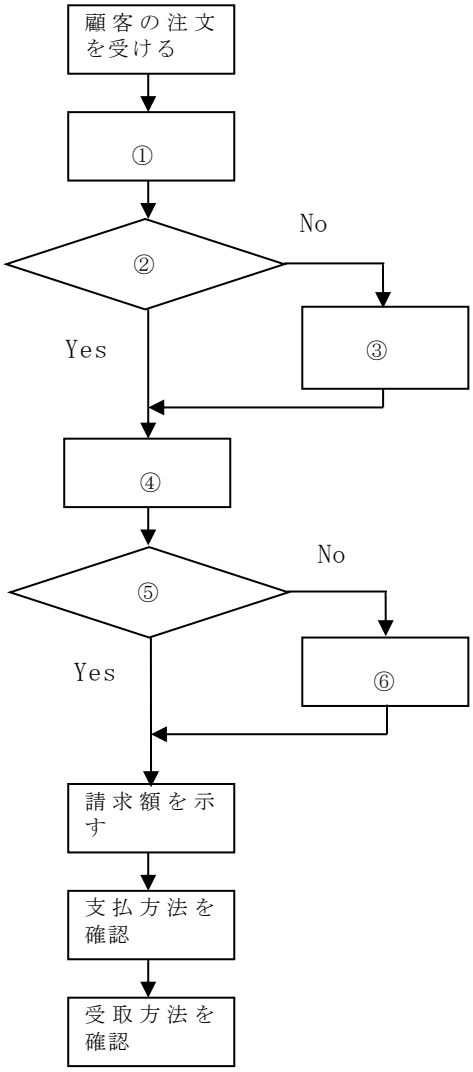
ア．規格がメーカーにより異なるため、機器メーカーが異なると互換性がない。
イ．ハードディスクや半導体メモリと比較すると、長期保存に向いている。
ウ．ランダムアクセスが可能なので、必要なデータを高速で取り出すことができる。
エ．データ転送速度は、一般的なハードディスクよりも遅い。

禁転載複製

問題27　以下の＜事例＞に基づき、図中の①～⑥に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

A店では、これまで業者向けに工事用部品の店頭販売を行っていたが、既存顧客の定期購入を促進するため、インターネットによる販売を取り入れることとした。これに伴い、オンラインショッピングのシステム開発に実績のあるB社に開発を委託することとした。B社は、注文時の受付業務のワークフロー図をA店に提案した。



ア．①：顧客を確認　②：登録済既存顧客　③：顧客名簿を参照
　　④：購入商品を確認　⑤：出荷倉庫在庫有　⑥：受注の凍結指示
イ．①：顧客を確認　②：登録済既存顧客　③：顧客を登録
　　④：購入商品を確認　⑤：出荷倉庫在庫有　⑥：入荷の指示
ウ．①：購入商品を確認　②：出荷倉庫在庫有　③：受注の凍結指示
　　④：顧客の確認　⑤：登録済既存顧客　⑥：顧客の登録
エ．①：購入商品を確認　②：出荷倉庫在庫有　③：入荷の指示
　　④：顧客を確認　⑤：登録済既存顧客　⑥：顧客名簿を参照

禁転載複製

問題28　製造に関わるシステムと製造業務に関連する用語の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＰＤＭ（Product Data Management）は、製品の設計に関する図面、部品表、変更履歴などのデータを一元的に管理し、設計開発業務の効率化を支援する。
イ．ＭＲＰⅡは、製品を生産するために必要な資材や部品の所要量を計画するＭＲＰに対し、資材や部品に加えて、中間製品や半製品も含めて所要量を計画するＭＲＰの拡張版である。
ウ．ＣＡＭ（Computer Aided Manufacturing）は、ＣＡＤ（Computer Aided Design）で作成されたデータを用いて、ＮＣ工作機械の制御するプログラム作成を行うシステムである。
エ．ＤＸＦ（Drawing Exchange Format）は、ＣＡＤのデータ交換における標準的な形式で、数多くのＣＡＤアプリケーション間で基本的な図形情報の交換ができる。

問題29　販売活動に関わる用語の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．購買心理プロセスにおけるＳＩＰＳとは、ＳＮＳが広く普及している環境において、マーケティング上重視されている消費者行動モデルのひとつで、ソーシャルメディアを利用する人々の購買行動に特化し、提唱されたモデルのことをいう。
イ．Ｏ２Ｏ（Online to Offline）マーケティングとは、オンライン（＝WEBサイト、インターネット広告、ＳＮＳなど）で広く情報を発信し、集めた見込み客をオフライン（＝実店舗）へ誘導して購買を促す施策のことをいう。
ウ．ライブコマースとは、ユーザーが商品を実際に手に取れない不安感を持つＥＣのデメリットを解消するために、ＥＣサイトから実店舗にユーザーを誘導して販売スタッフが販売することをいう。
エ．ＭＥＯとは、Map Engine Optimization（マップ検索エンジン最適化）の略で、地域情報と密接に関わるためローカルＳＥＯとも呼ばれ、店舗や施設など、実際にユーザーの来店促進につなげることを目的とする施策のことをいう。

問題30　ＩＣタグに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．ＩＣタグを物流倉庫や図書館、書店などで管理対象のモノに付けることによって、瞬時にデータの入力・認識ができる。
イ．ＩＣタグの単価が下がり、耐久性が向上したことで利用場面が増え、技術面でＩｏＴの普及に貢献している。
ウ．小売店のＰＯＳシステムなどで商品を識別するために貼り付けられたＩＣタグには、商品の販売価格情報も記録されている。
エ．ＩＣタグの利用により、モノを動かさずに一括で検品を行えたり、棚卸し作業の省力化と、無断持ち出しや盗難防止といったセキュリティの強化も実現できる。

禁転載複製

問題31　無人航空機（ドローン、ラジコン機等）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．無人航空機本体は、いかなる重量であっても航空法の規制対象となるため、無人航空機登録制度に則り登録申請しなければ飛行させることはできない。
イ．農薬散布や物流ドローンなどの有人地帯での飛行には、ドローン国家資格の１等無人航空機操縦士の資格取得が必要である。
ウ．空港周辺や人口集中地区、また夜間飛行などの特定飛行を行う場合は、事前に国土交通省航空局の許可・承認を受ける必要がある。
エ．第三者上空を補助者なしで目視外飛行を行う場合で許可・承認不要とするためには、機体認証を受けた無人航空機を、技能証明を受けた操縦者が飛行させる必要がある。

問題32　ｅ-ラーニングに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

ア．学習者は個々人の習熟度に応じて学習を進めることができるが、教師側は各学習者の学習成果や成績の管理はできない。
イ．学習材（コンテンツ）には、静止画や動画の映像、音声、文章などを組み合わせたマルチメディア形態のものが多く、電子百科事典のように資料提示型の教材としても活用されている。
ウ．利点として、学習者は目的に応じた均一化（標準化）された授業を受けることができ、教師側はクラスごとに同じ授業を繰り返し行う必要がない。
エ．欠点として、学習者は教師やほかの学習者との交流がとりにくく、実技を必要とするような科目に向かないことが挙げられる。

問題33　デジタル技術を活用して医療や介護の情報を共有・連携させ、業務の効率化や患者の利便性向上、より質の高い医療サービスの提供を目指す「医療ＤＸ」の実現のために国が行う社会的な取組みとして不適切なものは、次のうちどれか。

ア．全国医療情報プラットフォームの構築により、全国規模で医療情報を集約・共有し、患者の診療情報や処方情報の共有化を進める。
イ．医療機関同士で医療情報のスムーズなデータ交換や共有を推進するため、交換規格と交換する標準的なデータ項目及び仕様を定め、標準規格化する。
ウ．ＩＣＴを活用した医療機器を用いた患者と医療機関とのリアルタイムな医療情報の共有や遠隔診療などのオンライン診療の普及を推進するため、指針を定期的に見直す。
エ．デジタル化された各種医療等情報を、研究者や企業などがビッグデータとして収集し分析するなどの二次利用を禁止する法令を定める。

禁転載複製

問題34　ａからｄのうち、運用工程の活動状況により変化するものは、次のアからエのどれか。

ａ：情報システムが提供するサービスに対する利用者の満足度
ｂ：情報システムの非機能要件の実現度
ｃ：情報システムの稼働率
ｄ：情報システムのスループット

ア．ａ、ｂ、ｃ、ｄ全て変化しない。
イ．ａ、ｂ、ｃ、ｄ全て変化する。
ウ．ａ、ｃだけが変化する。
エ．ａだけが変化する。

問題35　データベースに障害が発生したときの回復方法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．障害発生時直前のチェックポイントの前にコミットを発行しているトランザクションはロールバックし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールフォワードする。
イ．障害発生時直前のチェックポイントから障害発生までの間にコミットを発行しているトランザクションはロールバックし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールフォワードする。
ウ．障害発生時直前のチェックポイントの前にコミットを発行しているトランザクションはロールフォワードし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールバックする。
エ．障害発生時直前のチェックポイントから障害発生までの間にコミットを発行しているトランザクションはロールフォワードし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールバックする。

問題36　以下の＜事例＞で利用するクラウドサービスとして適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞
情報システムを自社開発することとなり、作成したプログラムをテストするための仮想サーバーを、社外のクラウドサービスを利用して準備することとした。なお、仮想サーバーは、ＯＳやミドルウェアなどの基本ソフトウェアをクラウドサービス事業者が提供、インストール、管理するクラウドサービスを利用し、基本ソフトウェア以外のソフトウェアは自社で用意して仮想サーバーにインストールを行う。

ア．プライベートクラウド
イ．ＳａａＳ
ウ．ＩａａＳ
エ．ＰａａＳ

禁転載複製

問題37　委託元に常駐し情報システムのプログラム製造作業を行う請負契約に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

ア．委託元のプロジェクトリーダーが、委託先の各作業者に作業を割り当てた。
イ．委託元プロジェクトリーダーが、委託先の各作業者に毎日作業進捗の報告を求めた。
ウ．委託元が、成果物の検収後に代金を支払うことを契約条件とした。
エ．委託元が契約時に、過去に委託元で作業経験がある委託先社員を作業者として指名した。

問題38　以下の＜事例＞に基づき、同様の原因による障害を予防するために改善すべき管理項目として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞
業務アプリケーションを稼働させるサーバー機で、機器内部の温度異常を示す警告ランプが点灯したが、機器の警告ランプの確認は定期巡回監視の点検項目になかったため、確認・報告されず温度異常に対する必要な処置が行われなかった。その後、サーバー機は機器内の温度異常のため停止し、業務アプリケーションの処理が中断された。調査の結果、機器内へ外気を取り込むファンの故障が原因であることが判明したため修理を行った。

ア．インシデント管理
イ．問題管理
ウ．イベント管理
エ．設備資源管理

問題39　情報システムの障害への対応は障害管理と問題管理に分かれるが、このうち障害管理の活動として最も不適切なものは、次のうちどれか。

ア．根本原因の除去のために必要な、障害の発生日時、事象や処置内容などを記録する。
イ．障害内容の調査と診断を行い、得られた結果から再発防止のために恒久的な解決策を実施する。
ウ．検出した障害を分類し、あらかじめ決めておいた基準によって優先順位付けを行い、対応策を実施する。
エ．過去に同様の事象が発生していないか、発生時にどのような対応を行ったかを調査する。

禁転載複製

問題40　組織的なセキュリティ対策として適切なものは、次のうちどれか。

ア．情報セキュリティ保護対象となる情報資産を絞り込み、個々の資産の保護責任を定め、相反する職務及び責任範囲は分離する必要がある。
イ．情報セキュリティの専門組織や関係当局との適切な連絡体制を維持し、事件・事故発生時には適切な報告をしなければならない。
ウ．個人情報や顧客秘密情報を業務委託先が漏洩（ろうえい）した場合に、業務委託先の責任として対応するよう契約等で合意しなければならない。
エ．外部からの不正アクセスによる情報セキュリティインシデント調査及び不正の証拠確保のために、全てのイベントログを取得し、ログ情報が改ざんされないように保護する必要がある。